

ネットゲームでフレン  
ド探してたら女の子と  
出会いました。

仮面ライダーロード

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

NFOというオンラインゲーム、そんな1個のツールで繋がった青年と少女たちの物語。

# 目次

一夜限りの関係なのに	1
ちよつと出てきます。	5
害悪デツキ	9
配信見に来ました。	13
配信見に来ました―R i n R i n	17



# 一夜限りの関係なのに

N F O :

俗に言うオンラインゲームというものである。

様々なジョブが存在し、それによって戦術も変わってくる。

シンプルでありながらも奥の深いゲームだ。

そしてオンラインゲームということで様々なプレイヤーとの交流がある。

おっと自己紹介してなかったな、俺の名前は風上フウマ。風に吹かれるのが大好きな所詮中二病というやつさ。俺のN F Oでの職業は召喚士というものだ。元々アーケード版オリジナルであったジョブだが、つい先日実装され、愛用しているジョブだ。

ほかのジョブと違い、召喚士特有のデッキというものを用意する必要がある、そこに入手したカードを最大12枚セットしてそれらを下僕として召喚し戦うというものだ。カードにもレベルが存在し、レベル上げは苦勞したが、実装されて65時間程で環境デッキは組めたし、大体のカードは全て入手した。さすがに寝ないでほぼ3日はキツかったがな。

だが、俺は『魔術型』デッキを組みたかったそれだけなのだ。

まあカードのコンボの話についてはまたそのうち話をしよう。

さて、今日もログインして1人でクエスト消化している訳だが…そろそろフレンドが欲しい。むしろ今までなんでフレンドでできなかったのか不思議だ。

<緊急クエスト出現>

フウマ「はいはい来ると思っていましたよー」

とりあえずマッチングに入る。まあこんな深夜52時にプレイしてる奴いるかは知らん g…

<Rin—Rinが参加しました。>

フウマ「え？ 深夜52時やぞ。マジで？」

<聖墮天使あこ姫が参加しました。>

フウマ「嘘だろおい…まあでもさすがに3人k…」

<ユキナが参加しました。>

<リサが参加しました。>

<サヨが参加しました。>

フウマ「なじえっ!？」

いつも配信で稼いでて今は配信切ってるけど、こんな面白い光景見れるなら配信しとけば良かった…

<クエストスタートします。>

フウマ「まあこうなったらやれることをやるだけだ。」

どうやら入ってきた5人は入ってきた順にウィザード、ネクロマンサー、詩人、ヒーラー、タンク。うん悪くない、いいチームになりそうだ。てかなんかみんな女の子っぽい名前だけど、ネカマやんな？

まあ一夜限りの関係だからどうでもいいが。

召喚士の戦い方はさつき話した通りデツキを構築、引いたカードを使うといったものだ。カードのコンボによってステータスが跳ね上がるのでできる限りデツキ内容の統一が必要だ。

おつ、エクスページョンのカードか。初手からいい札だ、ボスの弱点を守っている装甲を叩き割れそうだ。

とりあえずMPが貯まるまでは次のカードは引けない。ここはエクスページョンを連発しつつMPを少しずつ貯めるしかない。

ちなみにほかの5人はというと、ウィザードもエクスページョンなどで装甲を割り始めている。詩人のおかげかエクスページョンの威力も増している。てか俺のエクスページョンがいつもより威力が高いのはそれか。やはりマルチは強いな。

そしてウィザードをガードするタンク、死霊を召喚しある程度の距離を取ってサポー

トするネクロマンサー、ずっと回復打ってるヒーラー。

いやもうHP満タンやでえ…

よし装甲が割れた、カードも2枚引ける…

フウマ「チェックメイト、俺のターン、ドロロー！」

引いたカードは千本ナイフと最強の魔術師『ETERNAL』。これは決まったな。

<討伐成功、ミッション完了。>

フウマ「よし。やはりマルチだと周回スピードが異常だな。」

まあ今回はたまたまだ、またソロで配信しながら周回して…

<フレンド申請が5件来ました。>

フウマ「え」



ちよつと出てきます。

今日は何の日か。そんなの答えは1つき。

『NFO オフラインイベント』

Neo Fantasy Online ってゲーム名なのにこれじゃあNeo Fantasy offlineだわ。ごめんなんでもない。

だが、今回俺は出演者として出演する。

ジョブごとの上位ランカーが集まり、互いに対戦するというものだ。

顔出しNGなら覆面をして参加するか参加拒否するかといった感じだ。

ちなみに俺は顔出しNGではないが一応覆面をして参加する。

特に今回のジョブ対決、召喚士の将来に大きく影響していくものだと思っているので。あと、配信で稼いでいるとはいえ、この大会の賞金100万円は普通に欲しい。

というわけで会場に着いた俺は早速ウォーミングアップをする。

??「あの…もしかしてストローファーさんですか？」

妖艶な黒髪の女性が話しかけてくる。

ストローファーというのはゲーム内での俺の名前だ。

フウマ「はいそうですが…」

??「ほんとですか！私は剣士ランカーのクロエです。ストーファーさんの大ファンなんです！」

フウマ「そ、そうなんすね…よ、よろしくお願いします…」

クロエ「うんうんよろしく。」

うわあ陽キャだ…いやエッチすぎやから妖キャ??

え、怖っ。

スタッフ「ストーファーさんとクロエさんですね、今日はよろしくお願いしますー」

クロエ「うんよろしくー」

フウマ「よろしくお願いします。」

スタッフ「あとストーファーさん、サイン貰ってもいいですか？」

フウマ「さ、サイン？書類とかのですか？」

スタッフ「あ、それはイベント終わってからで。今欲しいのは私の私物用のやつです。」

フウマ「あつ…そつすか…」

と俺は渡された色紙にサインを描く。

スタッフ「ありがとうございます！ また係員から誘導があると思いますのでお待ち

ください。」

クロエ「はい」

フウマ「了解です。」

<その頃>

燐子「あ、あの…えつと…」

紗夜「待機列はこっちみたいですね。」

あこ「人がいっぱいですねー紗夜さーん」

友希那「イベントとはこういうものなのね。いつか私たちのライブもこれだけの人来て欲しいわね。」

リサ「ちよつと待って？いつもこれぐらい来てるはずだよ？」

燐子「と、とりあえず並んで待ちましょう。」

あこ「にしてもりんりん、良かったの？ウイザードランカー大会出て優勝したら100万だよ？」

燐子「いいよ…私は…それにあこちゃんこそネクロマンサーの方はいいの？」

あこ「ううん…迷ったけど、りんりんと一緒にイベント楽しみたいもん！」

紗夜「そうですね、私もポテト食べたいです。」

リサ「NFOの限定グッズっていう目標忘れてない？」

友希那「私は詩人、ひたすら詩を読むわ。」  
リサ「うん可愛いよ友希那。」

## 害悪デッキ

フウマ「バレーファルコン召喚。召喚士のスキルカード発動、ファルコンの効果でスキル再利用、ファルコンのパワー値上昇。攻撃。」

実況「おおっとファルコンの効果が発動！スキルを再利用して威力を上昇、しかも回避できないア！！なんて害悪デッキなんだア！」

解説「某カードゲームみたいですなこれ。」

実況「それを言っちゃアおしめえよ。」

1回戦、無事に突破できそうだ。

ちなみに総当たり戦で全部で3回対戦するわけだが…その対戦ごとにデッキを変更することができる。1回戦目では害悪デッキを使ったわけだが…次はあのデッキを使うか。

実況「では続いて2回戦目。NFO、ジョブ別ランカーズバトル、スタート！」

俺が今回使うのは妨害害悪デッキ。

フウマ「ゴレム召喚、耐性付与、デバフ設置。」

対戦相手「バフ対策しかしてないのに…やっぱりファルコンではないか…サレン

ダー。」

実況「おっと…対戦相手早すぎるサレンダー!!」

解説「あのゴーレムは召喚士を守ってくれる優秀なモンスターですが、耐性付与によつてかなりの高火力でなければ突破できず、デバフ設置によりその高火力も低下してしまう。詰みです、害悪です。」

まあ勝つためだからね仕方ない。

それにそもそも召喚士の戦闘スタイルが対プレイヤー仕様ではない気がする。だつてこんなんほぼカードゲームじゃん。

実況「さて、第3回戦の準備が整いました、最終バトル、スタート!」

最後に使うのは新作の『薔薇型テーマ』のデッキだ。

バフとデバフの解除やポイント吸収で直接の戦闘を有利にしていくデッキだ。もちろんテーマ統一のため全体的にステータスも上昇する。

実況「なんとびつくりストーリーファー選手、ここに来て普通にテーマデッキです!」

燐子「えっ…」

あこ「今、ストーリーファーって…」

紗夜「確かこの前の緊急マルチの時の…」

友希那「あの時はあの人がいなければクリアできなかつたわね。」

リサ「ほんといい人だったよねー」

友希那「でもその彼が今あのステージにいるのね。」

紗夜「そうですね。ですが…フレンド追加していただけるとは思っていませんでした。」

燐子「同じく上位ランカーですけど…びつくりです…」

あこ「ジャブが違くと上位ランカー同士の付き合いつてほとんどないよねー」

フウマ「薔薇型バレットローズでガード低下、ロージングドラゴンで攻撃。」

対戦相手「くううう、負けた、さすが1位だな。」

フウマ「あんまり自分の順位に興味はないのだから。」

対戦相手「またいつか、対戦お願いします。」

フウマ「そうですね、いつかまた。」

実況「というわけでまずNFO最強の召喚士はストーリーファー選手に決定だあ！みんな大きな拍手をしてくれ！」

恥ずかしいなこれ。

あこ「すごいねりんりん！」

燐子「うん…私も…いつかあんな風になる…」

紗夜「そういえばこの都市のイベントに参加しているということはこちらに住んでる

方なのでしょいか。」

友希那「気になるわね。」

リサ「多分そうだと思うなあー。あ、そうだとオフ会やろうよ！6人で！」

4人「え」

チームRoselia、果たして彼女らは頂点をめざし、フウマとオフ会ができるの  
だろうか…

次回、「配信見にきました。」ご期待ください。



## 配信見に来ました。

フウマ「よしそろそろ配信の時間だな。はあ…眠い。」

久々に寝たわけだが、かなり眠い。

フウマ「まあ頑張ろ、頑張らなきゃお金無くなるし…」

もう3000人待機してる…怖っ。

フウマ「はいおはようございますストーリーファーです。今日もNeo Fantasy Online、NFOやっぺいこうと思いまーす。」

「なんかフレンドメツセージ来てるぞ！」

「え、てことはストーリーファーさんがフレ申請したってこと？」

「いやでも絶対上位ランカーばっかりだろ。」

フウマ「あ、マジでメツセージ来てるわ、後で見とくか。」

一体なんのメツセージだろ…

フウマ「とりあえずね、マルチクエストから消化していくわ。」

240円「マルチしたい！」

フウマ「いやああんまりスナーとマルチしたくないかなあ…あはは…ごめんね。」

度々こういうスパチャが飛んでくるわけだが…困ったもんだ。

フウマ「とりあえずマッチング開始と… まあいつも通り出撃可能になったら出撃するわけだが。」

< Rin Rin と聖墮天使あこ姫とサヨが参加しました。 >

フウマ「え」

< 準備が整いました、出撃できます。 >

フウマ「えっなんで」

「フレンドじゃねこれ」

「にしても入ってくんの早すぎw」

「実は配信見られてる説」

フウマ「これで配信見られてたら笑うわ」

「まあでもこの前のイベントの件があるからなあ」

「配信主ってことバレてそうw」

5000円「フレンドおめ」

フウマ「ああ確かにバレてそうw あ、スパチャありがとごさいます、配信終わったらまた読み上げやりますんで配信楽しんでいってねー」

< クエスト開始します。 >

フウマ「よしきた、じゃあやっっていくかー」

今回のクエストはコラボイベントの『ブレイブドラゴン』の討伐クエスト。なんのクリアかは知らないが、ブレイブドラゴンの持つ火の魔石と龍の魔石がちょうど欲しかったのでクエストを進めようって感じた。

フウマ「とりあえずやはりネクロマンサーとウィザードとタンクの人か。なんかこの人たちはすごい頼りになるんだよな…」

今までマルチはクソとか思ってたのに不思議なこった。

そしてなんやかんやでウィザードの人のエキスプローションが決まりクエストクリア。報酬もタンクの人のスキルのおかげで大量に獲得できた。

「かなりのベストチームではこれ。」

「てかウィザードとネクロマンサーの人上位ランカーやんけ」

「ま？やばすぎやろ」

フウマ「ま？やばすぎやろ」

ついコメントと同じことを口に出してしまった。

てか上位ランカーってことはあの会場にいたのか…??

覚えてねえな…

クロエ『5000円：おお今日も配信やってるねー』

「あ、本物じゃん」

「すげえクロエの本物やー」

「さすがストーファーさん、上位ランカーの知り合いめっちゃおるやんー憧れるう」

フウマ「ええ…まあクロエさん、この前のイベントはお疲れ様です。まあまたそのうちマルチでもしましょう。」

フレンドやクロエさんの登場でトレンド入りし同接が2万を超えたのはそのうち話すとしよう。

次回、白金燐子視点の『配信見に来ました。』  
ご期待ください。

## 配信見に来ましたーR i n R i n

燐子「確かストーファーさんはこのアプリで配信を…」

あこ「あ、ほんとだ！この人だよりりん、紗夜さん！」

紗夜「確かにこの人ね。アーカイブの声の感じも本人で間違いないでしょう。」

あこ「あ、もうすぐ始まるみたいだよ！」

紗夜「にしても、宇田川さんはともかく私までお泊まりしても良かったのですか？」

燐子「氷川さんも私たちのN F O仲間ですから…」

紗夜「そうですね、少し照れますね。あ、あとストーファーさんにオフ会の件の話を

メッセージで送っておきました。」

燐子「え」

あこ「紗夜さんが率先してメッセージを送るってかなり珍しいですね」

紗夜「私もオフ会にも興味はあるの。一応、スタンガンは用意してあるので安心して

オフ会できますね。」

燐子「多分…ストーファーさんが安心してオフ会できない…です…」

そんな会話をしていると配信が始まりました。

ストーリーファー「はいおはようございますストーリーファーです。今日もNeo Fan tasy Online、NFOやっついこうと思いまーす。」

なんだかストーリーファーさんの声、好きかも…

「なんかフレンドメッセージ来てるぞ!」

「え、てことはストーリーファーさんがフレ申請したってこと?」

「いやでも絶対上位ランカーばかりだろ。」

あ、私もコメントしなきゃ…何打とう…

あこ「多分このコメント欄で言われてるメッセージ紗夜さんのやつじゃないですか?」

紗夜「確かにそうかも。配信が終わったあとにも楽しみね。あら、オート周回になつてないわ…かなりのタイムロスね。ただ、目標の分は回収できてはいるわね。」

あこ「オート周回便利ですよねー」

ストーリーファー「あ、マジでメッセージ来てるわ、後で見とくか。」

あこ「とりあえず見てもらえそうで良かったー!」

ストーリーファー「とりあえずね、マルチクエストから消化していくわ。」

240円「マルチしたい!」

え、スパチャだ…というか私もストーリーファーさんとまたマルチしたi…そうだ、この

マルチクエストは募集中はフレンドなら入れるクエストのはず…

フウマ「いやああんまりスナーとマルチしたくないかなあ…あはは…ごめんねー。」

燐子「このクエスト、フレンドなら即マッチングできるので入りませんか。」

紗夜「おつ、NFOのことになると早口になる白金さんが出たわね、ちょうど私もそう思っていたところよ。」

あこ「あこはもう準備おつけー！」

燐子「じゃあやっちゃいましょう。」

フウマ「とりあえずマッチング開始と… まあいつも通り出撃可能になったら出撃するわけだが。」

そういつも通りにはさせません。

< Rin Rin と聖墮天使あこ姫とサヨが参加しました。 >

フウマ「え」

< 準備が整いました、出撃できます。 >

フウマ「えっなんで」

紗夜「かなり驚いてますねストーファーさん。」

あこ「友希那さんが猫に逃げられた時みたいな反応ですわね！」

燐子「あこちゃん、それ本人には言わない方がいいね…」

「フレンドじゃねこれ」

「にしても入ってくんの早すぎw」

「実は配信見られてる説」

案の定コメント欄は私たちのことで溢れている。

フウマ「これで配信見られてたら笑うわ」

「ごめんなさい見えます。」

「まあでもこの前のイベントの件があるからなあ」

「配信主ってことバレてそうw」

5000円「フレンドおめ」

フウマ「ああ確かにバレてそうw あ、スパチャありがとございませう、配信終わったらまた読み上げやりますんで配信楽しんでいってねー」

＜クエスト開始します。＞

フウマ「よしきた、じゃあやっていくかー」

今回私たちが一緒にやるクエストはコラボイベントの『ブレイブドラゴン』の討伐クエスト。ブレイブドラゴンの持つ火の魔石と龍の魔石はかなりのレアアイテム、恐らくストーリーアーさんも収集しておくつもりなのだろう。

フウマ「とりあえずやはりネクロマンサーとウィザードとタンクの人か。なんかこの



人たちはすごい頼りになるんだよな…」

私たちのこと、覚えててくれたんですね…

そして紗夜さん、かなり集中している様子…

そして私のエクスプロージョンが決まってクエスト完了。氷川さんのスキルのおかげで大量にアイテムをドロップできました。

「かなりのベストチームではこれ。」

「てかウィザードとネクロマンサーの人上位ランカーやんけ」

「ま？やばすぎやろ」

フウマ「マ？やばすぎやろ」

やはり私たちの話題が出てくるとかなり恥ずかしい…

クロエ『50000円：おお今日も配信やってるねー』

「あ、本物じゃん」

「すげえクロエの本物やー」

「さすがストーリーファーさん、上位ランカーの知り合いめっちゃおるやん！憧れるう」

フウマ「ええ…まあクロエさん、この前のイベントはお疲れ様です。まあまたそのうちマルチでもしましょう。」

あこ「まってこの配信トレンド入りしてる！」

紗夜「同接も…2万人越え…」

燐子「す、すごい…」

私たちが話題となり、トレンド入りしてしまい、この同時接続はつきり言ってビックリしすぎて倒れるかと思った…